

白馬メディア

～近隣住民とのお茶会～



グループホーム「かたくりの郷」は、白馬メディアの南隣にあります。南側には杉林が広がり、静かに暮らせるとても落ち着いた環境です。しかし、メディアの奥にあるので、地域に密着し、開けたグループホームを目指すには課題となっています。

そんな中で地域住民と交流の機会として、毎年「えべ・えべ祭」で出店している「かたくり茶房」をヒントに11月8日（木）に茶話会を開催しました。

手作りの招待状を手に近隣の家庭を訪問して声を掛けたところ、

当日は16名の地域の方が来所されました。

秋、収穫した栗を利用しての手作りケーキと漬け物を囲みながらご利用者も一緒に“おもてなし”をして、楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

地域の方の中には初めてかたくりの郷へ訪れた方もおられ、グループホームの様子を知っていただく良い機会となりました。

今後も地域の方と交流が広がり、馴染みの関係が築けるように活動を続けていきたいと考えています。



トピック

ミサトピア小倉病院より ～門松の作り方～

2007年もあとわずかとなった頃、病院で門松作りを行ないました。

材料は、竹、松、梅、南天、葉牡丹、杉の枝、プラスチックのゴミ箱、わらを用意し、

- ① ゴミ箱に、わらをすだれ状にして巻きつけ土台を作ります。
- ② 竹を6本にし、2本長く、4本長い竹より短めに斜めカットします。（適度な寸法にする）
- ③ 土台にわら縄で括った竹を入れ、土や石などで固定します。
- ④ 竹の周りに松や南天、梅の木などは飾り完成です。
（水引や扇など飾るとより華やかになります。）



門松は、新年に神さまをお招きするための目印であり、依代を表すものです。もともとは、中国より新年に松を家に持ち帰ったのが伝わり、玄関に飾るスタイルになったのは室町時代頃だそうです。病棟の患者さん方は、色紙で羽子板作りをし、来年もいい年なるように願いを込めました。

いつも優しく

特別医療法人 城西医療財団

〒390-8648

長野県松本市城西1-5-16

TEL 0263-33-6400

FAX 0263-33-9920

http://www.shironishi.or.jp

今号は各施設における
特集!! 地域へ向けた活動 としてその内容についてお届け致します。

公開講座

年をとっても元気でいたい!

昨年11月17日（土）ミサトピア小倉病院体育館で、「年をとっても元気でいたい!」と題して当財団の公開講座を開催致しました。

近年公開講座は開催されていみせんでしたが、財団学術教育委員会において老人人口の増加とメタボリック症候群が騒がれる昨今、健康センター（健診部門・フィットネス部門）とリハビリセンターの両方を兼ね備えた財団では、地域に対し、より専門的な知識に基づいた情報提供が出来る物と考え計画致しました。

内容は以下のとおりで

第1部門 13:00 ~ 14:30 担当 健康センター

『メタボリック症候群にならないための生活と運動療法』

⇒ 保健所からメタボリック症候群の概要

⇒ 管理栄養士から食事で気をつける事

平成20年度 城西医療財団目標

目次	城西医療財団目標	…1
	公開講座	
	城西医療財団 豊科病院	…2
	豊科病院 小倉病院	…3
	白馬メディア 安曇野メディア	…4

- 1、経営の健全化 増収減支
- 2、職場の環境づくり
- 3、医療安全・サービスの質の向上
- 4、地域連携
- 5、社会医療法人化

- ⇒ 運動指導師から自宅のできる運動について
- ⇒ 医師からメタボリック症候群についての説明

第2部門 14:00 ~ 16:00 担当 リハビリセンター
『寝たきりにならない運動療法』

- ⇒ 理学療法士から自主トシと家族指導、腰痛・膝痛などの運動器疾患改善のための運動療法と解説と実践

参加者75名で壮年・老人が主体でしたが質問もかなりあり、参加者の日頃の生活に対する関心の高さを伺わせる積極性



がみられ、医療関係者として張り合いを持って取り組んでいけると実感した講座でありました。

加えて、数年単位での開催も視野に入れ、今後の財団としての取り組みも如何に判りやすく尚且つ、日頃の生活の中で継続的に出来る事を提供できるように工夫をしていかなばと感じました。

今後もより地域に根ざした医療財団研修会開催を目指していきます。

豊科病院

安曇野市一斉清掃への参加



安曇野市では、市内の不法投棄の根絶を図り、また環境の快適さや美化啓発を目的として、「安曇野市一斉清掃」という環境美化活動が年2回行われます。参加者は住民の皆さんをはじめ各種団体や事業所も含まれ、当院もこの美化活動に毎回参加しております。

今年度2回目の「安曇野市一斉清掃」は、11月11日（日）に行われましたが、当院は職員の都合上、前日の11月10日（土）に実施いたしました。

今回の清掃範囲は、当院から北方面の豊科北中学校までの道路沿いと、西方面となる近代美術館先までの道路沿いを中心に行いました。



清掃には多数の職員が参加し、草刈・空き缶や空き瓶の回収・ゴミの回収・水路の汚泥の清掃など作業を分担して行いました。

1時間程度の作業でしたので、清掃できる範囲は限られてしまいましたが、市街地にもかかわらず、沢山のゴミや空き缶が回収され、その量の多さに一同驚かされました。

安曇野市の景観の美しさは、全国的にも有名です。その景観の美しさに恥じぬよう、まずは足元である街の美しさを保ちたいものです。

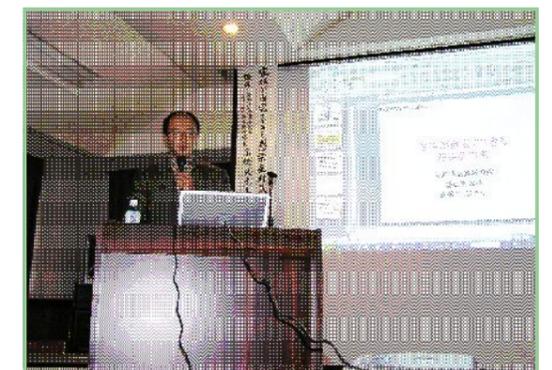
安曇野市が、その景観とともに“いつまでも美しい街”であるよう、今後も自主的に清掃活動を行ってまいります。



安曇野メディア 『支えあう在宅介護』

安曇野メディアでは平成19年11月10日（土）、第2回「支えあう在宅介護」をピレッジ安曇野にて開催しました。今回はJICA国際協力専門員としてご活躍された、長野県立須坂病院感染制御部長の高橋央（ひろし）先生より、「家族が自宅のできる感染症対策」としてご講演いただきました。

講演で高橋先生は、どんな感染症も標準予防策（スタンダードプリコーション）が基本であるとして、①空気感染と飛沫感染予防策としてマスク着用や換気をおこなう。②接触感染予防対策として手洗いや防護を紹介されました。



家庭での感染対策としては、①職場・自宅の環境衛生整備、②全員が標準予防策（マスク・換気・手洗い等）で対応、③予防接種をうけることの3点が強調されました。また、HIV感染についても解説していただきました。

今後も地域の皆様へ発信できる企画として「支えあう在宅介護」をメインテーマとした研修会を継続していきたいと思っております。